

# 突然のケガや病気に備えて!

## 津市内のショッピングモールで救急フェアを開催!

# 津消防タイムズ

第33号



AEDの取扱いについて説明を受ける家族の方

発行 津市消防本部  
〒514-1101  
津市久居明神町 2276

編集 消防総務課  
企画広報担当  
TEL 059-254-0353  
FAX 059-256-7755

協力 津市防火協会

火災などの  
お問い合わせ  
☎224-1881  
救急医療情報案内  
☎256-1199

### ○ショッピングモールで救急フェアを開催

急な怪我や病気のときに行う、応急手当や心肺蘇生法などを体験してもらおうと、九月七日、津サテイで「救急フェア」が開催されました。このイベントは、救急の日（九月九日）と救急医療週間（九月七日～十三日）にちなんで、救急業務への理解を深めて頂くため、津市消防本部が行っているものです。イベントには、買い物客や家族連れの親子などが訪れ、簡単な応急手当の仕方や心肺蘇生法、AED（自動体外式除細動



→救急法について熱心に説明を受ける家族の方



←買い物客に応急手当の普及を呼びかけるデモンストラクション

←住宅用火災警報器について、設置場所等の説明を受ける市民の方



→骨密度の測定や血圧測定等、健康相談等に訪れる参加者



器)の使い方など、同市消防職員や女性消防団員(デュージー分団)の指導のもと、体験していました。体験した市民の方からは「AEDは知っていたが、使った事が無かったのが良い体験になりました」と述べていました。また、コーナーの一角には、住宅用火災警報器のパネルが設置され、同市消防本部予防課職員による普及啓発活動が行われました。三重県看護協会津地区支部からは、健康・介護相談や血圧・骨密度測定コーナーが設けられ、訪れた市民の各種健康相談に対応していました。

### ○三重県総合防災訓練を

#### 県営サンアリーナで実施

九月七日、東海、東南海地震を想定した三重県総合防災訓練が伊勢市にある県営サンアリーナで行われました。

訓練は、地元住民や県内消防本部、警察機関、ボランティア、県内の企業など約七十団体の五千人が参加し、防災関係車両百三十台、航空機九機を使い、災害対応の訓練を行いました。

津市消防本部からは、地震の混乱からNBC災害（毒劇物テロ）が発生した事を想定し、救助工作車、救急車、災害支援トラックの車両三台、職員十人が参加し、関係機関と連携を図りながら対応していました。

野呂昭彦知事は「各機関で相互応援の連携について、研鑽を深めて、自らのまちを自らで守る事が大切です」と述べていました。



↑訓練に参加する津市消防本部の車両



↑NBC災害に対応する津市消防本部の隊員

### ○初期消火協力者に

#### 感謝状を贈呈

津市北消防署北署で、九月十二日、初期消火に協力した志摩市在住の久保健児さんに村山好昭北消防署長から感謝状が贈呈されました。

久保さんは、八月二十八日に津市芸濃町椋本地内で発生した建物火災で、仕事で偶然に通りがかった際、早期に一九番通報を行うとともに、自らの車両に積載していた消火器で初期消火を行い、被害を最小限にとどめました。

感謝状を受領した久保さんは、「改めて火の恐ろしさを感じました。火事には今後も注意していきたい」と述べていました。



↑初期消火に協力し被害を最小限に抑えた久保さん



### ○県内初！消防団指導員科に女性団員が入校

九月五日から三日間、県消防学校で平成二十年度消防団員指導員科が開校しました。



↑消防団員指導員科の皆さん（一番右端が櫻川さん）



指導員科が開かれ、津市津消防団デージー分団から、分団長の櫻川政子さんが入校しました。

女性消防団員が消防団員指導員科に入校するのは、県内で初めてのことで、指導者としての責務、危機管理能力の向上、安全管理の重要性などを中心に行われ、AFT（実燃型建物火災消火訓練施設）を使用している現場指揮要領も行いました。

櫻川さんは、「指導する難しさ、特に部下を育てるといふことは、最終的に自分自身を育てるといふことになるということが今回の研修でよくわかりました。今回学んだことを今後の消防団活動に役立てていきます」と述べていました。

### ○医療機関で防災訓練

九月四日、三重中央医療センターで久居消防署久居署の隊員も参加して、防災訓練が

実施されました。

訓練は、大地震が発生し、負傷した多くの付近の人が病院へ駆け付けた事を想定。久居署救急隊員が多数の負傷者を病院玄関前に設営されたトリアージ（負傷程度により、治療の優先順位を決めること）センターに繰り返し搬送を行い、医師や看護師によるトリアージが手際よく行われました。

三重大学武田多一准教授は「実際の地震災害では、被災者へ一〇〇パーセントの気配りをして、被災者は一〇〇パーセントと感ぜないのが普通であり、今後の対応に活かして下さい」と述べていました。




↑三重中央医療センターの玄関前に設営されたトリアージセンター




**特集！ 所属紹介！ 津市北消防署 ～管内は私たちが守ります～**



↑北消防署 芸濃分署  
津市芸濃町 6141-1  
TEL 265-2500



↑北消防署 河芸分署  
津市河芸町上野 3824  
TEL 245-0119



↑北消防署 北署  
津市栗真中山町 816-2  
TEL 232-3092

**特集！所属紹介**

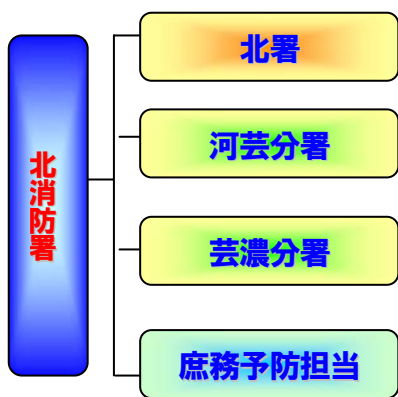
**津市北消防署**

**津市北消防署 署長**  
**消防監 村山 好昭**

津市北消防署の管轄は、津市の北東部に位置する白塚、一身田、栗真を始め西部の大里、高野尾地区ならびに旧安芸郡の河芸町、芸濃町となっています。

管内の特色は、海岸地区の漁業の町、田園地区の農業の町、山間部の林業の町とバラエティーに富んでいます。それに伴い災害も多種多様化する傾向にあり、それらの災害に対し、日夜、臨戦態勢を整えています。

組織体制は、北署を中心に河芸分署・芸濃分署の一署二分署体制で署員を配置しており、市民の安心安全を守ることをモットーに日々勤めています。



また、予防業務にあつては、予防担当を配置し、防火対象物に対する法的指導、予防活動、火災原因調査の指導および各種統計等を行っています。

署員は、地区住民のニーズに応えるべく、消防隊・救急隊および救助隊の各隊は、機器の整備や訓練に励んでいます。平成二十年三月には、芸濃分署を旧庁舎から芸濃庁舎（芸濃総合支所）内に移転し、ソフト面ハード面の充実を図り、市民が安心して暮らせる街を目指して努力しています。しかし、災害は天災・人災と様々な要素により発生するものです。特に人災は一人ひとりが細心の注意を払えば軽減できるものです。災害の無い住みよい明るい街作りのため、北消防署員一丸となって努力する所存ですので、市民の皆様のご協力をお願いいたします。

また、北消防署は、防火・防災のサポート役として、開かれた消防署を目指していますので、消防業務に関するご相談があればお気軽に御来署ください。

次号は、久居署を特集予定です。



消防署だより

名所・歴史紹介  
中消防署西分署

○平氏発祥伝説地・忠盛塚

現在市内の産品地区には「忠盛塚」といわれる小塚があります。正式には「平氏発祥伝説地」と言い、この塚は平忠盛が生まれた時の胞衣（えな）を埋めた「胞衣塚」とも言われ産湯を使ったとされる産湯池も残っています。

伊勢の国は、武家の棟梁、平氏の根拠地であり、数ある平氏の中で、最も頭角を現したのが桓武（かんむ）天皇の流れをくむ伊勢平氏で平維衡（たいらのこれひら）が伊勢守として在任して以来、平氏が代々伊勢国や伊賀国に勢力を張ったと言われており忠盛もその一人です。忠盛とは歴史上でよく知られる平清盛の父であり、武士の中で初めて昇殿（天皇が日常住む清涼殿の殿上の間に入りすること）を許され、朝廷内に平氏の勢力を確立し、平氏政権の基礎を築いた人物です。



↑ 津市産品地内にある忠盛塚

平氏繁栄の基礎を築いた忠盛だからこそ、忠盛塚が「平氏発祥伝説地」と言われる由縁かもしれませぬ。しかしながら、忠盛出生地のことも歴史的事実を文献で立証することは困難なようで未だ伝説の域を出ませぬが、古くより伊勢国の重要な地であった安濃津だけに、歴史を大きく動かした平氏との関わりが、伝説となったのかもしれない。（村主充孝）

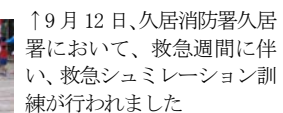


↑ 武家百人一首（玉蘭齋貞秀画）

カメラアングル



↓9月27日、高岡幼稚園の運動会にて、防火パレードが行われ、園児の演奏等が行われました。



↑9月12日、久居消防署久居署において、救急週間に伴い、救急シュミレーション訓練が行われました



↑9月14日、河芸町で行われた、平成20年度豊津地区敬老会に津市消防音楽隊も参加しました



ご家庭に住宅火災警報器を設置しましょう！

消防法の一部改正及び火災予防条例の改正により、平成20年6月から住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。



～ 8月中の災害 ～  
火災 9件 (83件)  
救急 981件 (7,603件)  
救助 13件 (93件)  
( ) 内はH20年累計

○編集後記

九月十二日、いつもと変わりなく勤務をしていると一本の電話が鳴りました。「あの、明日日本に大地震が来るのでしょうか？科学的根拠はあるのですか？」もう一度聞いただしてみると、子供が友人から明日大地震が来ると聞いたと言っており、近所の奥さんも防災グッズを揃えているとのことでした。

よく調べてみると、ある予言師が十三日に大地震が来るとの予言をし、それが一部のテレビ番組で取り上げられ、流行っているとの事でした。幸いにも予言は外れましたが、これを機会に防災用品を揃えたり、家族で防災を語る機会が増え、一役買ったような気がします。（大東雄一）

☆ 10月の主な行事 ☆

- ・10月9日（木）  
職場防災協議会  
（メッセウイングみえ）
- ・10月19日（火）  
栗葉地区敬老会・音楽隊出演  
（栗葉小学校 体育館）
- ・10月28日（火）  
秋の音楽鑑賞会・音楽隊出演  
（高茶屋小学校 体育館）